

「勇気の連鎖」という取り組みを進めている。昨年までは「社会実験」と呼んでいたが、今年度名前を変え、同時に取り組みを進める仲間を作ることにした。仲間になってくれたのは、児童会と美化委員会、5年生の学級代表▼しかし、ここまで進むには、小さなストーリーがある。そもそもこの取り組みは児童会4人の子どもたちが始めた。しかし美化委員会にとっては、自分たちの取り組みに差し障りがあったのだ▼児童会の正義と美化委員会の正義が衝突した。素晴らしかったのは、美化委員会が児童会に話し合いを申し出たことである。児童会はその申し出に対して丁寧に対応した。その結果2つの正義は見事に融合した▼で一体何なの？という話だが、取り組みの都合でそれは答えられない。それよりもうれしかったのは、子どもたちのこの動きである。▼話し合いの中で、「みんなに言えばいいんじゃない？」という意見がでた。「それではダメなんだ。」「きまりにしちゃいけないんだ」児童会の子はそうやって答えてくれたそうだ▼人は感情で動く。正の感情も負の感情もある。正の感情はいわゆるポジティブ思考である。ポジティブに物事を思考できる子を育てたい。相手を否定しない。断定しない。「こうしなければならない」と決めつけない。それが、「勇気の連鎖」という取り組みである。児童会と美化委員会の「巻き込み」が始まった。